



事例No. 5～9は、2015年5月下旬～7月初旬に小学校が中心となって発生した集団下痢症疑い事例であった。管轄保健所が行った疫学調査の結果、各事例は1つのクラスが中心となって発生したが、それぞれの小学校は離れており(図2)、学校間でのスポーツ交流等の共同行事は行われておらず、疫学的に関連性はなかった。

また、2014年3月に川崎市で発見された新しい遺伝子型であるGII.17が2015年2月に県内で初めて検出され、それまで流行の中心であったGII.4 2012変異株の検出数が減少傾向にある。

以上のことから、近年NoVの流行株に変化が起きていることが考えられた。過去、NoVの流行株が変化した場合、全国的大流行が発生しており、今後もNoVの流行を注視していく必要がある。

## 参考文献

- 1) 国立感染症研究所：新規遺伝子型ノロウイルス GII.P17-GII.17 の流行，病原微生物検出情報，**36**，175-178，(2015)
- 2) 大沼正行，三橋加世子，佐久間たかね：山梨県におけるノロウイルスGI，GIIの混合感染事例について，山梨衛環研年報，**55**，71～72(2011)
- 3) 国立感染症研究所：ウイルス性下痢症診断マニュアル(第3版)

表1 NoV GI が検出された事例

事例No.	発生年月日	原因施設	検出ウイルス(検出数)	遺伝子型
1	2014年12月	小学校	GI(2), GII(3)	GI.2, GI.7 GII.6
2	2015年1月	飲食店	GI(2), GII(5), サボ(3)	GI.2 GII.4
3	2015年2月	飲食店	GI(2), GII(3)	GI.2 GII.17
4	2015年5月	他県	GI(3)単独	GI.2
5	2015年5月	小学校	GI(9)単独	GI.3
6	2015年6月	小学校	GI(10)単独	GI.3
7	2015年6月	小学校	GI(5)単独	GI.3
8	2015年6月	小学校	GI(5)単独	GI.3
9	2015年7月	小学校	GI(4)単独	GI.2

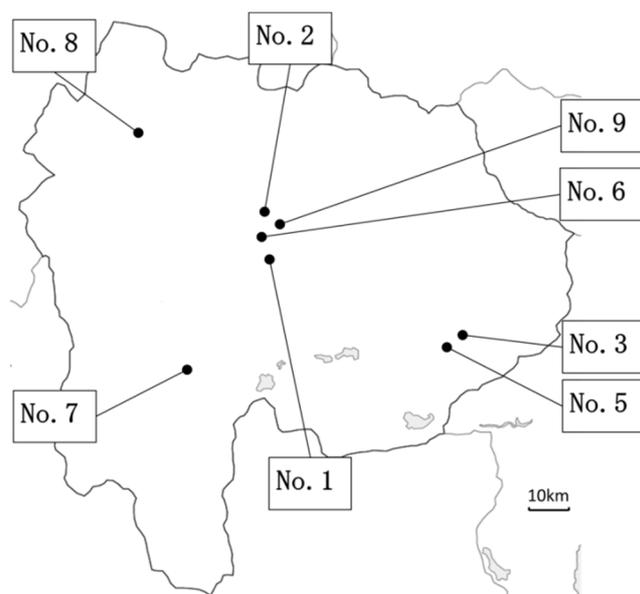


図2 NoV GI 食中毒・集団下痢症事例発生地点